

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【公開番号】特開2018-46895(P2018-46895A)

【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-012

【出願番号】特願2016-182545(P2016-182545)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月11日(2019.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技球が入球可能な第1状態と該第1状態よりも入球困難又は入球不可能な第2状態とに変化可能に構成された可変始動手段と、

普通図柄始動手段が遊技球を検出することに基づいて普通図柄を変動表示可能な普通図柄表示手段と、

前記普通図柄表示手段による変動後の停止図柄が所定態様となった場合に、前記可変始動手段が前記第1状態に変化する普通利益状態を発生可能な普通利益状態発生手段と、

前記可変始動手段への遊技球の入球に基づいて特別図柄を変動表示可能な特別図柄表示手段と、

前記特別図柄表示手段による変動後の停止図柄が第1態様となった場合に第1利益状態を発生させる第1利益状態発生手段と、

前記第1利益状態の終了後に特別遊技状態を発生可能な特別遊技状態発生手段とを備え、

前記特別遊技状態の開始後における前記普通利益状態の回数が所定回数に達した場合に前記特別遊技状態を終了し、

前記特別遊技状態中は、それ以外の遊技状態中に比べて、前記普通利益状態で前記可変始動手段が前記第1状態となる時間が長くなるように構成された

遊技機において、

前記特別遊技状態の開始前に開始し、開始後に終了する前記普通利益状態については前記回数にカウントしない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技球が入球可能な第1状態と該第1状態よりも入球困難又は入球不可能な第2状態とに変化可能に構成された可変始動手段21と、普通図柄始動手段19が遊技球

を検出することに基づいて普通図柄を変動表示可能な普通図柄表示手段 3 5 と、前記普通図柄表示手段 3 5 による変動後の停止図柄が所定態様となった場合に、前記可変始動手段 2 1 が前記第 1 状態に変化する普通利益状態を発生可能な普通利益状態発生手段 6 5 と、前記可変始動手段 2 1 への遊技球の入球に基づいて特別図柄を変動表示可能な特別図柄表示手段 3 8 と、前記特別図柄表示手段 3 8 による変動後の停止図柄が第 1 態様となった場合に第 1 利益状態を発生させる第 1 利益状態発生手段 7 6 と、前記第 1 利益状態の終了後に特別遊技状態を発生可能な特別遊技状態発生手段 7 7 とを備え、前記特別遊技状態の開始後ににおける前記普通利益状態の回数が所定回数に達した場合に前記特別遊技状態を終了し、前記特別遊技状態中は、それ以外の遊技状態中に比べて、前記普通利益状態で前記可変始動手段が前記第 1 状態となる時間が長くなるように構成された遊技機において、前記特別遊技状態の開始前に開始し、開始後に終了する前記普通利益状態については前記回数にカウントしないように構成したものである。

また、前記回数をカウントするためのカウンタ C 2 を備え、前記普通利益状態の開始時に、前記特別遊技状態中であることを条件に前記カウンタ C 2 を更新し、前記普通利益状態の終了時に、前記カウンタ C 2 の値に基づいて前記回数が前記所定回数に達したと判定した場合に前記特別遊技状態を終了するように構成してもよい。この場合、前記普通利益状態の終了時に、前記特別遊技状態中であることを条件に前記特別遊技状態の終了に関する前記判定を行うようにしてもよい。また、前記特別遊技状態の開始時に前記所定回数を前記カウンタ C 2 にセットし、前記普通利益状態の開始時に、前記特別遊技状態中であることを条件に前記カウンタ C 2 の値を 1 減算し、前記普通利益状態の終了時に、前記カウンタ C 2 の値が 0 である場合に前記回数が前記所定回数に達したと判定するようにしてもよい。

また、遊技球が入球可能な開状態と該開状態よりも入球困難又は入球不可能な閉状態とに変化可能に構成され且つ入球した遊技球を特定領域 4 4 a とそれ以外の領域 4 4 b とに振り分ける特定入球手段 2 2 と、前記特別図柄表示手段 3 8 による変動後の停止図柄が第 2 態様となった場合に、前記特定入球手段 2 2 が所定時間前記開状態となる第 2 利益状態を発生させる第 2 利益状態発生手段 7 5 と、前記特定入球手段 2 2 に入球した遊技球が前記特定領域 4 4 a に案内された場合に第 3 利益状態を発生させる第 3 利益状態発生手段 7 6 とを備え、前記特別遊技状態発生手段 7 7 は前記第 3 利益状態の終了後にも前記特別遊技状態を発生可能としてもよい。